



かざり

長野県長寿社会開発センター

36号

飯伊地区賛助会 平成27年1月16日

事務局 飯田市追手町 2-678

飯田保健福祉事務所福祉課 (飯田合同庁舎)



長野県シニア大学飯伊学部 作品展・開催される



1年生作品展は12月4日(木)~7日(日)まで、2年生は9日(火)~14日(日)まで、飯田創造館で開催されました。

今年は、「郷土の歴史」班のみなさんも、一人一人のテーマについて発表しました。来場された方からは「学習の成果が表れていて素晴らしく感銘しました。」等の感想をいただきました。



1, 2年生ともに飾り付けは苦勞しましたが、きちんとした展示ができました



展示した後は講師の先生から作品の解説をお聞きして他の実技の事も学び合いました





新年のご挨拶

(公財) 長野県長寿社会開発センター
飯伊支部長兼事務局長

山崎 真弘



新たな年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、県内各地において大きな災害に見舞われた一年でした。記録的大雪から始まり、木曾地域では土石流災害や御嶽山の噴火、県北部で初冬に発生した神城断層地震と、尊い人命が奪われるなど大きな被害を受けました。

天災であったり、事件・事故であったり、生活を一変させるような出来事が日常的に起こり得るといふ現実の中で、昨日と同じような今日が当たり前ではなく大事な時であることを、私も年を重ねるごとに感じています。

社会は高齢化率という数字で言えば、高齢化が急速に進展しているのが現状ではありますが、向上心に溢れ、地域の元気をリードする方々が大勢いらっしゃいます。そして、高齢者の方々には、地域社会からも地域の一員としての役割を担い、地域を支えていくことが期待されております。

また、飯田下伊那地域は、十数年後のリニア中央新幹線の開業に向けて大きく動きだしており、将来を見据えた地域づくりを住民や関係機関が共に考えていく必要があります。

この地域が次の時代へと着実に歩むためにも、賛助会の皆様が本年も健康で活躍され、より良き一年でありますようご祈念申し上げます。

(公財) 長野県長寿社会開発センター
飯伊地区賛助会会長

吉川 玲



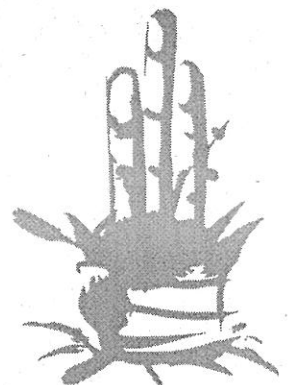
新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、良い年を迎えられ、益々ご健勝にて班活動等ご活躍されておられる事と推察申し上げます。

賛助会も母体である長野県長寿社会開発センターが平成23年より「財団法人」から「公益財団法人」となり支部、グループ等への交付金が大幅に減価された事などから会員が全県的に減少し、飯伊地区においても、グループ数、会員数共に減少致し、飯伊地区として再三、県に申し上げて来たところですが、県も昨年8月賛助会員制度にかかる賛助会員委員交換会が県内四会場で開かれ、改革に前向きに取り組を始めました。

これからも魅力ある賛助会となるよう意見を申し上げてまいりたいと思います。

会員の皆様も、ご意見をお寄せいただき、賛助会が、私達高齢者の組織として益々躍進出来ますようお願い申し上げまして、新年の挨拶といたします。



飯伊支部支援事業

マレットゴルフ大会開催

平成 26 年 10 月 16 日 (木) 親水マレットゴルフ場 参加者 77 名



受付 (賛助会長と役員)



支部長挨拶



ルール説明 賛助会役員



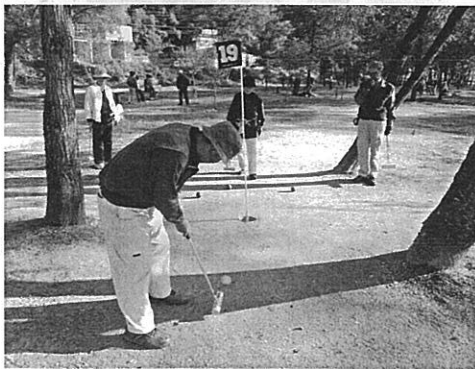
木がじゃまだな～



どうだ!



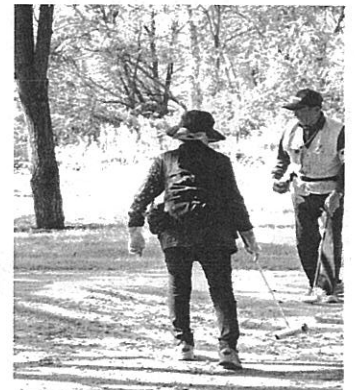
あれ? 方向がちがう



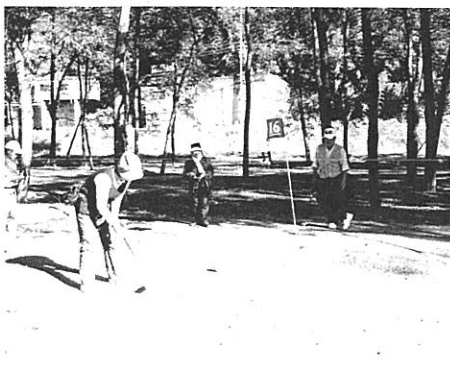
入ってくれよ～



どっちへ打とうかな



マウンドはいやだ、はずれた～



ナイスショット



賛助会長より賞品授与



左から 3位大原 2位関口、優勝棚田

県高齢者作品展飯伊地区入賞者 表彰式・作品展

今年は飯伊地区から、30点が出品され、10名の方が入賞されました。その方々の作品展が、合同庁舎の1階ロビーで、表彰式が同じ合庁で11月に行われました。彫刻部門では、平澤昭さん(シニア大35期生)が知事賞を受賞されました。



合同庁舎ロビーでの作品展



受章者のみなさん



今年も入賞された賛助会員の
菅沼春彦さん



書道の部で入賞され賛助
会員の原田百合子さん



今年も入賞された賛助
会員の志村節さん

シニア世代の社会参加についての意見交換会 (賛助会グループ活動発表会と意見交換会)

1 期日 2月17日(火) 13:00~15:30

2 会場 飯田合同庁舎3階 講堂

3 内容

●賛助会グループ活動発表 13:10~14:10

・高森町如月会(今年度理事長表彰受賞)

・シニアニューススポーツクラブ ・劇団「赤門」

●シニア世代の社会参加についての意見交換会 14:20~15:20

コーディネーターの進行で話し合われること

○地域社会に貢献するために「シニアのチカラ」でできること。

○「シニアのチカラ」を発揮するための仲間づくりについて 他

「グループ発表会」の後「シニア世代の社会参加について意見交換をする」初めての試みです。おもしろくないそうです。だれでも参加OK

4 参加者 シニア大1年生全員、シニア大2年生、賛助会員他どなたでも

※今までにないタウンミーティングです。是非お出掛けください。

《俳句》

日溜りに居眠りしてるぶらんこよ

中村徳次郎

ぶらんこに乗りて楽しいぶーらぶら

澤柳富貴子

ストレスを癒す故郷の空が澄む

無駄足も厭わず踏んだ五十年

曾我都男(秋水)

《短歌》

侘助の一輪瓶に俯きぬ独り暮らせる友の机上に

伊坪富喜子

清里で求めしもろこし頬れば傘さす人と白き霧頭つ

伊藤 富子

《川柳》

お祝いで断酒していたのにまた負けた

共に白髪言っていたのにはげ頭

岡田 安弘

《原稿募集》

長野県長寿社会開発センター、飯伊地区賛助会では年間4回の機関誌「かざこし」を発行しております。その季節に併せたもの、行事、イベント等紹介いたしております。今回は、毎年行なわれております、シニア大生の実技講座で培った結果を発表する作品展、支部支援事業「マレットゴルフ大会」等を紹介させて頂きました。

毎号文芸欄が寂しくなり、皆様からの文芸・写真・活動報告・なんでも結構です、ご投稿いただければ大変うれしく思います。

◇ 事務局 飯田地方事務所福祉課 担当 事務局 松澤 TEL 0265-53-0464 FAX 0265-53-0474

◇ 編集委員会 担当 委員長 名取 TEL 0265-53-1165 FAX 0265-53-1165

《編集後記》

昨年の10月末、幼友達十数人で上村「しらびそ高原」の“ハイランドしらびそ”に一泊する事になった。道々の紅葉に感激し、高原では御嶽山の噴火の煙に驚いた、夕日の真赤な太陽、“うわー”歓声上がる。霜柱の立つ寒い朝、赤石山脈から昇る朝日を拝み、ため息をつく。

南アルプス地域(上村、南信濃地区)が、平成26年6月11日にユネスコエコパークに登録されたと知る。日本では屋久島や白山など7地域が登録されており、自然と人間社会の共生に重点が置かれている貴重な伝統文化や歴史などが評価された。

五穀豊穡を願い、無病息災を祈りながら、人々が受け継いだ伝統をこれからも続けてもらいたい。

賛助会幹事 佐々木亮助



パソコンクラブの展示



「郷土の歴史」も展示しました



長寿社会開発センターの堀内常務さん・浅野さん（シニア大担当）・塚田さん（賛助会担当）が見に来てくれました

シニア大学2年生実践活動・発表会・開催

2年生が、実践講座として26時間を掛けて本年度初めて取り組んだ「実践活動の発表会」が、1月6日（火）に合庁講堂で、2年生124名、1年生も60人、賛助会員や一般の方も10名程の皆様方が参加して行われました。一つの実践活動が4分という大変短い時間で、20の実践活動が発表されました。実践活動に真摯に向き合い活動した姿が大変素晴らしいとの声が多くありました。



薬草茶の試飲コーナー



実演を交えての発表



堂々と発表する2年生



アドバイザーの先生方



外は雨が降って寒くありましたが、会場は200名近くの方々が入って、熱気が感じられました